

〈研究発表〉

2017年度未来企画会議 活動内容紹介

未来企画会議ファシリテータ 佐々木 祐 人¹⁾¹⁾ 東芝インフラシステムズ(株) 水・環境システム事業部
(〒212-8585 川崎市幸区堀川町72-34 E-mail: yuto.sasaki@toshiba.co.jp)

概 要

EICA が主催する人財育成プロジェクト「未来企画会議」では、今年度のテーマを「企画力の実践～100人に響く企画を創造する～」とし、全5回のセミナーを通じて、参加者の企画力育成に取り組んでいる。これまでに開催した3回のセミナーでは、一大イベントの仕掛人、フォトグラファー、大起業家などバラエティに富む優れた方々を講師として迎え、企画立案の実践的なトレーニングを通して、参加者が企画の提案を精力的に行ってきた。全5回のセミナー後に行われる研究発表会では、本プロジェクトの活動報告と参加者2チームが企画案をポスター発表する。

キーワード：企画、仕掛人、セミナー、グループワーク、ディスカッション

原稿受付 2017.9.8

EICA: 22(2・3) 77-78

1. 今年度の活動テーマ

今年度は「企画力の実践～100人に響く企画を創造する～」をテーマに、全5回のセミナーを通して、企画の立案のみならず、実践することを目標に活動を行っている。昨年度までも様々な優れた講師に講演頂きつつ、その取り組みを学び、精力的に企画を提案してきた。今年度はそれに加え、企画の実行段階における困難を経験することで、より人財育成の有効性を高めることを意識した活動を展開している。ここでは、全5回のセミナーのうち、これまでに開催した第3回までの活動内容を紹介する。

2. 今年度の活動内容紹介

2.1 第1回：1800人を集める一大ワインフェスティバルの仕掛人

第1回セミナーでは、企画の仕掛人が企画する際のポイントや思いを知ることが目的として、1800人が参加する東京ワインフェスティバル「八王子サンヴァンサン」を主催する渡辺純氏を講師として招いた。八王子という土地で、いかに店を活かしていくかを考えた結果、フランスで開催されていた村々のワインを飲み歩くサンヴァンサンを八王子の街並みで行うことを思い付き、それを現在の形に発展させるまでを講演いただいた。同様の取組みを神田で行うためのアドバイザーに就任した際、八王子とは異なる困難が生じたエピソードなど、今年度のテーマに沿う企画立案の極意を伝授いただいた。

次に、「八王子で行う100人規模のイベント」をテーマに参加者にてグループワークを行い、一方のグ



Photo 1 第1回セミナー 企画講評

ループは「20～30代の男性」、もう一方のグループは八王子サンヴァンサンと同様の「30代後半の裕福な独身女性」をターゲットとする企画についてディスカッションした。企画コンセプト及び具体案を渡辺氏に講評いただくことで、企画を立案する面白さと難しさを実感する最良の機会となった。

2.2 第2回：スタイリスト出身の話題のフォトグラファー

第2回セミナーでは、視覚で人の心に企画を響かせる方法を学ぶことを目的として、メンズファッション誌などを中心にフォトグラファーとして活動し、近年発表している都市の肖像写真シリーズが国内外で大きな反響を呼んでいる高木康行氏を講師として招いた。写真撮影の心得や魅力的な写真の要件を伝授いただいた。また、撮影した素晴らしい数々の写真を紹介いただいた。まず「常にカメラを持つこと」を前提として、①「いいなと思うときにシャッターを押す」、②「近づいてみる」、③「ファインダーを見ずに周りを見渡す」ことが写真撮影の3つの心得である。SNSの普

及に伴い、近年では言葉と写真を一つの表現として「見せる(魅せる)ことを意識した」、「伝えたいことがある」写真であることが大事であると、今後企画の提案にあたって重要となるポイントを示唆いただいた。

次に、「この会に集まる皆様におすすめしたいこと」のテーマに沿って、参加者が持ち寄った写真に理由を添えて発表し、好きな風景・食べ物・イベント・アイテムなどのこだわり写真を高木氏に講評いただいた。高木氏からは写真の構図に係るアドバイスなども頂く一方で、その写真に抱く本人の思いが重要であることを教えていただき、想い(情熱)を人に伝える方法を修得・体験する最良の機会となった。



Photo 2 第2回セミナー 参加者による写真紹介

2.3 第3回：幸せの伝道師たる破天荒な大起業家

第3回セミナーでは、成功者に学び人間的成長と企画の充実を図ることを目的として、携帯電話販売事業、介護事業など幅広い事業を手掛け、世界一長い会社名を持つ株式会社あなたの幸せが私の幸せ(以下略。どれだけ長い検索してみてください)の代表取締役CHO(Chief Happiness Officer)の栗原志功氏を講師として招いた。

講演では、まず「企画を実行すること」は「人々の未来の幸せを創ること」であること、しかし、企画が実現に至るのは容易ではないことを学び、その上で「なぜあなたの企画は賛同者が少ないのか？」と参加者の疑問を浮かび出させた。栗原氏曰く、その答えは最初に「企画書を作るから」であり、感情に訴えて賛同を得ることがまずは大事で、企画書はそのあとでいいとのことであった。

続いて、企画者に必要な5つの力、①突破力 ②発想力 ③楽しみ力 ④鈍感力 ⑤本気力の5つを伝授頂いた。具体的な例として、①突破力では「誰がキーパーソンか」の見極め、⑤本気力は困難や環境の変化を乗り越えてやり通せる人間か？情熱を持っているか？を問われるため、それに全力で応えることがそれぞれ重要であることを学んだ。

講演の最後には、自我作古(われよりいにしえをなす)の精神を基に、「自ら歩んだ道が道になる。道なき道を行け!!歴史なき所に歴史を作れ!!」と熱いエールを頂いた。

次に、同講演にて強烈に印象付けられた参加者は宿泊セミナーを通して、夜遅くまで企画内容の充実に向けて議論した。

明朝には、幸福学をテーマに慶應義塾大学SDM講師も務める栗原氏の幸せになるための実践的トレーニングとして、「慈愛の瞑想」を行った。発表の最後には企画の面白さとそれにかける情熱を人に伝える実践的トレーニングとして、スキット(即興)を行い各グループで考えた企画を表現した。スキットとは、企画の最も面白い場面を切り出して「ほら、楽しいでしょ!？」と共感を得ることを目的として体で表現するものである。

栗原氏の豊かな人格を通じた参加者の人間的成長の促進と、豊富な経験に裏打ちされた企画を成功させる要件を多面的に修得する最良の機会となった。



Photo 3 第3回セミナー 集合写真

3. 今後の活動・研究発表会について

今後は、残り2回のセミナーと、研究発表会への参加を予定している。研究発表会当日は、本プロジェクトの活動報告と参加者が2チームに分かれ、企画案のポスター発表を行う。

それ以降、参加者は企画実行と論文発表を進めていくと共に、運営陣は次年度以降の活動内容について検討していく。

謝辞

協賛団体を始めとした産学官の方々にはこれまでの活動にご理解・ご協力を頂いていることに深く感謝する。については、今後とも温かい目で活動を見守っていただきつつ、次年度以降も優れた人財の積極的な参加推薦をお願いしたい。